

製品名: FoxO4 (5Z13) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe11108**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IF-P
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:20000,IHC 1:100-1:200,IF-P 1:100-1:200
分子量	54kDa

抗原情報

遺伝子名	FOXO4
別名	Forkhead box protein O4; Fork head domain transcription factor AFX1; AFX; AFX1; MLLT7; FOXO4;
遺伝子 ID	4303.0
SwissProt ID	P98177
免疫原	ヒト FOXO4 の合成ペプチド

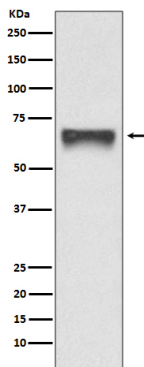
背景

フォークヘッドファミリーの転写因子は、横紋筋肉腫および急性白血病の腫瘍形成に関与しています。インスリンシグナル伝達経路の調節に関与する転写因子です。インスリン応答エレメント (IRE) に結合し、IGFBP1 の転写を活性化することができます。HIF1A の発現をダウンレギュレーションし、低酸素によって誘導される HIF1A 調節遺伝子の転写活性化を抑制します。また、細胞周期の負の調節にも関与しています。インスリンシグナル伝達経路の調節に関与する転写因子です。インスリン応答エレメント (IRE) に結合し、IGFBP1 の転写を活性化することができます。HIF1A の発現をダウンレギュレーションし、低酸素によって誘導される HIF1A 調節遺伝子の転写活性化を抑制します。また、細胞周期の負の調節にも関与しています。胚性幹細胞 (ESC) における PSMD11 の発現を活性化することでプロテアソーム活性の増加に関与し、26S プロテアソームの組み立てが強化され、その後プロテアソーム活性が高まります。

研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

画像データ



FoxO4 を導入した 293T 細胞溶解物における FoxO4 発現のウエスタン プロット分析。